

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 1月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471504054		
法人名	株式会社 コムネット		
事業所名	グループホーム家族		
所在地	広島県福山市千田町三丁目26-13 (電話) 084-961-0688		
自己評価作成日	令和3年11月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471504054-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471504054-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年12月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

理念にも掲げているように、家庭的な雰囲気の中で家族のように気兼ねなく生活できるよう、一人ひとりに寄り添った介護で、入居者の日々の暮らしを支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

町内会にも属し活動を行うなど地域との様々な交流を通して良好な関係性を構築している。開設時からの理念を大切に、利用者が家庭的な雰囲気の中で家族のように気兼ねなく暮らせることに重きを置き取り組みに尽力している。生活が業務の流れにならないことを意識し、生活の様々な場面で利用者の意思を尊重し個々に自由なライフスタイルを忘れず無理強いしない支援を心掛け日々実践しており、一人ひとりに目を向けた介護の支援がなされている。現在はコロナ禍のため感染症対策にて自粛や制限が多くある生活となっているが、日々の会話の中に季節を感じられる内容を話したり作品作りなど行っている。今後、情勢や状況を見据えながら家族や地域との交流、外出などにも意欲的に取り組みたい意向を強く持っている。

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関に大きく理念を掲げており、いつでも確認できるようにしている。また月に一度のミーティングで、毎回理念を唱和し確認し、理念の実践に向け日々取り組んでいる。	開設時からの理念を大切にし、家族のように気兼ねなく暮らせることを日々の支援で実践している。理念は玄関に大きく掲示しており日々確認が行え、ミーティングで適宜振り返りを行い職員全員で周知に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在、新型コロナウイルス感染防止のため、感染状況を確認しながら地域の清掃等に少しずつ参加している。「家族通信」の町内への回覧は継続している。	町内会に入っており地域の溝掃除や神社の掃除の手伝い、「家族通信」の便りを回覧板にて回覧し地域住民に事業所の活動の様子や取り組みへの理解を深めている。コロナ禍であり地域行事などは中止となっているが、地域や近隣の小学校、高校などと交流を様々に行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で施設の事例の紹介や認知症について等、現状を理解してもらえるように努めていたが、新型コロナウイルス感染防止で面会も制限しているため、現在は出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヵ月に一度、施設の現状報告や活動報告をしているが、現在新型コロナウイルス感染防止の為、運営推進会議を実施出来ていない。	現在、感染症対策のため会議は中止している。町内会長や民生委員の参加にて継続した関わりが定着しており、それぞれの任期終了後も地域関係者として参加するなど繋がり継続がある。歯科医に来てもらい講義を行ってもらったり、職員が議題を決め発表するなど活動を行っている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ケアマネージャーが中心となり、日常的に連携し協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議にて地域包括支援センターと意見交換を行っており、情報の共有や利用の相談があるなど連携を図っている。市の窓口には要介護認定更新申請時や運営推進会議の報告書を直接持参し顔の見える関係づくりに努めている。市の主催するオンライン研修にも参加をしている。	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	3ヵ月に一度、身体拘束適正化委員会で拘束している事例がないか確認し、どうすればより良い介護が出来るか検討し、拘束することがないように取り組んでいる。	3ヶ月に1度、運営推進会議の中で身体拘束適正化委員会を開催し、ミーティングでまとめた情報を伝えると共に拘束しないための取り組みを話し合っている。指針を年2回勉強会を兼ね確認し、何事にも根拠があって起こり得ることの理解や危機管理の意識を持ち取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで定期的に研修として、取り入れ話し合うことで、職員全員の意識を高め、防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している方がいない。今後利用される方がいれば必要に応じて支援していく。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に本人の面談や、家族からの相談を受けることで、不安や疑問をなくすよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族が来所した際や、電話で現状や本人の要望を伝え、また家族の要望や意見を聞き運営に反映させている。	日々の関わりから利用者の意向を確認しており、食べたい物の希望について購入や近隣のコンビニエンスストアへの買い物など、地域の社会資源を活用し反映に努めている。家族からもできる範囲で運動や歩く事ができるようにしてもらいたい要望にできる限り行えるよう実践している。	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングに毎回、代表者と管理者は共に出席しており、また現場にも入っているため、その都度相談出来る。</p>	<p>代表者と管理者は毎月ミーティングに参加する他、普段から現場に入る機会が多く日常の中で常に話や相談が行えている。勤務において早出、遅出業務の流れを検討し反映がなされた例がある。常に挙げた意見はやってみようという姿勢を持ち、意見が出やすい雰囲気を作っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者へ個々の要望をその都度伝えており把握している。また個々の状況に応じてシフトを作成し、働きやすい職場環境、条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、リモートでの研修参加をするよう勧められている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止の為、現在は交流する機会を作ることが出来ない。今後、状況をみながら実施していく。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>面談時の聞き取りや、家族アセスメントを利用し、安心できる暮らしを支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面談で情報収集を行うことで、要望等に耳を傾け、安心して利用して頂けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホームが適切であるか検討した上での入居となっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個々の役割を作り、自分で出来ることは奪わず、入居者同士トラブルなく協力し合って生活出来るよう支援している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止の為、人数、時間制限を設けて面会してもらっている。変わりがある時は、その都度必ず連絡を入れ報告している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止で、思うように面会も出来ない状態のため、家族と密に連絡を取り、関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	<p>利用開始時に利用者の生活背景や馴染みなど、情報を確認している。自宅に帰りたい方へは家族の協力を得て職員も同行し実現した。手紙の支援や話をしたい方には電話を繋ぐなど、関係継続の支援がなされている。今後も家族や兄弟と密な連絡や会えるようにしていくことを意向としている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	認知症による大声や独語、また反復運動等で他者とトラブルにならないように席の工夫をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	個人情報保護法の観点から、グループホームを退所された入居者の連絡を入れたり、情報収集をすることはないが、相談を望まれば支援する。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりに聞き取りをしたり、家族アセスメントを利用し、本人の希望に寄り添ったケアが出来るように日々努めている。	利用開始時に「人生の歩み」という年代ごとに分けたそれぞれの時期の暮らし方や出来事を記載する独自の様式にて生い立ちなど確認し、意向も普段の関わりから聞き取り汲み取っている。日々の表情など注意深く観察し、把握した情報はノートへ記載や声を掛け合い共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	病院、前施設や居宅から出来るだけ多く情報収集をし、これまでの経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居後、落ち着くまでは、本人のペースで過ごしてもらい、様子をみながら接点を持っている。問題点や疑問点はカンファレンスで検討し、情報を共有することで現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>スタッフ同士の日々のやり取りや、カンファレンスでの意見や提案を取り上げ、本人の状況変化に合わせた介護計画を作成している。</p>	<p>本人の気持ちを大事にし思いを確認している。家族の意向と共に検討を行い原案を立案し、職員全員でチェックのもと作成している。3ヶ月に1度介護支援専門員がモニタリングを実施し振り返りながら見直しを反映させている。医療面でも適宜主治医に指示を仰ぎプランに位置づけている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>3ヵ月に1回モニタリングを行い、計画の見直しをしており、退院時も同様に見直しをしている。また介護記録や申し送りノート、支援記録からの気づきをカンファレンスで共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個々の身体の状態や家族の状況に合わせて、サービスが柔軟に提供できるよう、その都度考えている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止の為、現在は地域資源との協働が出来ていない。状況をみて、地域の祭りや防災訓練への参加など出来るよう支援していきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医が3週間に一度往診している。また検査や通院等の支援も行い、治療方針はその都度、家族、主治医と相談している。</p>	<p>以前からのかかりつけ医の受診も選択する事が可能である。その際は家族協力を得ながら実施している。協力医の往診は3週間に1度あり、ユニット毎隔週で行われ、該当日でない別ユニットの往診でも適宜様子を診てもらうことができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	24時間看護師に連絡が取れ、相談をし指示をあおぐことが出来ている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態の早期発見に努め、変わりがあればその都度、協力医へ連絡を取り、指示をあおいでいる。退院時にも、病院関係者との情報交換や相談をしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医、家族、施設が同じ方向を向いて進めるよう、何度も話し合いを重ね、確認を繰り返すことで、家族の思いを固めていくよう取り組んでいる。	利用開始時に重度化、看取り支援に関する意向確認書で指針を説明し確認している。状態変化時に再度説明し意向を確認しながらカンファレンスにて支援方針を整え取り組んでいる。看取りの際には訪問診療に切り替えを行い、緊急時の際にははすぐに対応することが可能となった。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアル、連絡方法を作成しており、それに沿って行うよう、ミーティングで確認している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に様々な状況を想定した避難訓練を行っている。避難訓練には、地域の消防団、消防署員の協力を得ているが、新型コロナウイルス感染防止の為、今年度の協力は見送った。非常食を常備している。	年2回様々な災害の状況を想定した訓練を定期的実施している。以前は地域の防災訓練にも参加をしたり、現在も近所の方に有事の際における協力を要請し理解を得ている。災害別のマニュアルや緊急連絡簿も整えており、非常食の備蓄も3日分常備し備えている。	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりに合った声かけや対応をしている。	利用者氏名の呼び方に配慮するなど個人の尊厳を念頭に、一人ひとりに合った声掛けの実践に努めている。職員の気になる言動があれば管理者は適宜指導を行う他、職員同士で声を掛け合うことも行っており、同じ方向性を持ち一丸となり対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人が選べるように選択肢を示し、個々の理解度に応じた声かけ、働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、就寝、食事、入浴等ある程度の時間は決まっているが、その日の気分などで拒否がある場合は、無理強いせず、時間をずらしたり、スタッフの交代や、日を変える等、様子をみながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	現在、自発的にされる方がいないため、職員が支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べることは大好きだが、準備や片付け等出来る方がいないため、職員がしている。	業者の作る献立にて食材が運ばれ事業所で調理を行い、朝食のみ職員がメニューを決めて作り提供している。行事の際は日常食べないものを取り入れ楽しみに繋げており、常に旬な食材も適宜取り入れ季節を感じられる食事としている。朝食はパン食を選べるなど柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>嚥下状態や咀嚼、口腔内の状態に合わせて、キザミ食やミキサー食、トロミの使用などで工夫し提供している。また水分チェックや体重制限等、個別に記録し一人ひとりの状態に合わせて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアをし、毎日義歯洗浄を行っている。変わりがあれば、かかりつけの歯科へ連絡をとり、相談するようにしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入居者一人ひとりの排泄パターンに合わせて、出来るだけトイレで排泄できるよう支援している。</p>	<p>介護日誌に1日24時間の排泄記録を記載していき、個人の排泄パターンを明確に可視化し個別の誘導などケアに繋げている。夜間も安眠できることを優先に考えたオムツ対応など個人の状態に合わせて検討がなされている。不快な感覚を職員が理解し心地良く過ごせる支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>腹部マッサージを行ったり、水分摂取に気をつけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>熱い湯が好きな方、ぬるい湯を好まれる方等、それぞれに合わせて入浴を楽しんでもらっている。</p>	<p>週2、3回入浴ができるようにしている。入浴時間は16時から18時の間で行い、少しでも家庭に近い感覚で過ごせるよう支援している。気の向かない時などは無理強いをせず柔軟に対応している。バスクリンやゆず湯なども行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	安眠が得られるよう、不眠や夜間頻尿に対しての支援をしている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬剤情報を個々のファイルに添付し、いつでも確認できるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	日常での手伝いや、好きな歌手のCDを聴いてもらったり、月に一度は季節に合った行事を開催し、少しでも楽しみのある生活が送れるよう努めている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	新型コロナウイルス感染防止の為、外出は出来ていない。状況をみて今後外出できるように支援したい。欲しい物がある場合は、家族に依頼するか、職員が代わりに購入するようにしている。	現在はコロナ禍で感染症対策のため日々の外出はできていない。情勢や収束の状況を見越しながら随時散歩など再度行っていきたい意向である。コロナ禍以前では散歩コースを回ることが日常であり、外出行事も定期的に行っている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	お金の管理が出来る方がいないため、施設預かりとなっている。また新型コロナウイルス感染防止で外出出来ないため、現在使える機会がない。		

自己評価	外部評価	項目( かつおユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>こちらが提示した単語を書ける方は数名いるが、手紙を書くことは難しい。また電話でのやりとりの希望はない。希望があれば、家族と相談したうえで、やりとり出来るよう支援をする。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関や廊下には季節の花や置き物、写真など飾っている。また、清掃には気をつけ、気持ちよく過ごして頂けるよう努めている。</p>	<p>リビング横にある畳スペースでは掘りごたつも設けられており、ゆっくりとくつろげる居場所となっている。室内には季節の花や置物が飾られ、写真が掲示してあるなど和める空間作りがなされている。掃除も利用者とモップをかける等一緒に行うことが日常生活に定着している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングの机の配置替えや、席替えを必要に応じ行い、入居者同士のトラブルを防いでいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>タンス等、以前から使用していた物を持参して頂き、居心地よく過ごせるようにしている。</p>	<p>居室入口に表札を張り分かりやすくしている。クローゼットやベッドは備え付けであるが自宅で過ごしていた環境を適宜聞き取りを行い、タンスなど本人が使い慣れた馴染みの物の持参も行われている。利用者それぞれに和むことができ、落ち着いて過ごせる環境を整えている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室には表札を貼り、分かり易い様にしてしている。廊下やトイレ、風呂や洗面所と手すりをつけ、安全に移動が出来るようになっている。</p>		

V アウトカム項目( かつおユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関に大きく理念を掲げており、いつでも確認できるようにしている。また月に一度のミーティングで、毎回理念を唱和し確認し、理念の実践に向け日々取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在、新型コロナウイルス感染防止の為、感染状況を確認しながら、地域の清掃等に少しずつ参加している。「家族通信」の町内への回覧は継続している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で施設の事例の紹介や認知症について等、現状を理解してもらえるように努めていたが、新型コロナウイルス感染防止で面会も制限しているため、現在は出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヵ月に一度、施設の現状報告や活動報告をしているが、現在新型コロナウイルス感染防止の為、運営推進会議を実施出来ていない。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ケアマネージャーが中心となり、日常的に連携し協力関係を築くように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	3ヵ月に一度、身体拘束適正化委員会で拘束している事例がないか確認し、どうすればより良い介護が出来るか検討し、拘束することがないように取り組んでいる。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで定期的に、研修として取り入れ話し合うことで、職員全員の意識を高め、防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している方がいない。今後利用される方がいれば必要に応じて支援していく。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に本人の面談や、家族からの相談を受けることで、不安や疑問をなくすよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族が来所した際や、電話で現状や本人の要望を伝え、また家族の要望や意見を聞き運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングに毎回、代表者と管理者は共に出席しており、また現場にも入っているため、その都度相談出来ている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者へ個々の要望をその都度伝えており把握している。また個々の状況に応じてシフトを作成し、働きやすい職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、リモートでの研修参加をするよう勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、現在は交流する機会を作ることが出来ていない。今後、状況をみながら実施していく。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	面談時の聞き取りや、家族アセスメントを利用し、安心できる暮らしを支援している。		

自己評価	外部評価	項 目( わかめユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談で情報収集を行うことで、要望等に耳を傾け、安心して利用して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	グループホームが適切であるか検討した上での入居となっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個々の役割を作り、自分で出来ることは奪わず、入居者同士トラブルなく協力し合って生活出来るよう支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	新型コロナウイルス感染防止の為、人数、時間制限を設けて面会してもらっている。変わりがある時は、その都度必ず連絡を入れ報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止で、思うように面会も出来ない状態のため、家族と密に連絡を取り、関係が途切れないよう支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>認知症による大声や反復運動等で他者とトラブルにならないように席の工夫をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>個人情報保護法の観点から、グループホームを退所された入居者の連絡を入れたり、情報収集をすることはないが、相談を望まれば支援する。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりに聞き取りをしたり、家族アセスメントを利用し、本人の希望に寄り添ったケアが出来るように日々努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>病院、前施設や居宅から出来るだけ多く情報収集をし、これまでの経過等の把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入居後、落ち着くまでは、本人のペースで過ごしてもらい、様子をみながら接点を持っている。問題点や疑問点はカンファレンスで検討し、情報を共有することで現状の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>スタッフ同士の日々のやり取りや、カンファレンスでの意見や提案を取り上げ、本人の状況変化に合わせた介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>3ヵ月に1回モニタリングを行い、計画の見直しをしており、退院時も同様に見直しをしている。また介護記録や申し送りノート、支援記録からの気づきをカンファレンスで共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個々の身体の状態や家族の状況に合わせて、サービスが柔軟に提供できるよう、その都度考えている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止の為、現在は地域資源との協働が出来ていない。状況をみて、地域の祭りや防災訓練への参加など出来るよう支援していきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医が3週間に一度往診している。また検査や通院等の支援も行い、治療方針はその都度、家族、主治医と相談している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( わかめユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	24時間看護師に連絡が取れ、相談をし指示をあおぐことが出来ている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態の早期発見に努め、変化があればその都度、協力医へ連絡を取り、指示をあおいでいる。退院時にも、病院関係者との情報交換や相談をしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医、家族、施設が同じ方向を向いて進めるよう、何度も話し合いを重ね、確認を繰り返すことで、家族の思いを固めていくよう取り組んでいる。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアル、連絡方法を作成しており、それに沿って行うよう、ミーティングで確認している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に様々な状況を想定した避難訓練を行っている。避難訓練には、地域の消防団、消防署員の協力を得ているが、新型コロナウイルス感染防止の為に、今年度の協力は見送った。非常食を常備している。		

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりに合った声かけや対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人が選べるように選択肢を示し、個々の理解度に応じた声かけ、働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、就寝、食事、入浴等ある程度の時間は決まっているが、その日の気分などで拒否がある場合は、無理強いせず、時間をずらしたり、スタッフの交代や、日を変える等、様子をみながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	現在、自発的にされる方が2名いるが、他の方はされないため、職員が支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	もやしのひげとりなど出来ることはしてもらっていたが、現在感染防止のため控えている。		

自己評価	外部評価	項 目( わかめユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	嚥下状態や咀嚼、口腔内の状態に合わせて、一口大や刻み食など工夫している。また水分摂取が少ない方は、水分チェックを行い、個別に記録し一人ひとりの状態に合わせて支援している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアをし、毎日義歯洗浄を行っている。変わりがあれば、かかりつけの歯科へ連絡をとり、相談するようにしている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居者一人ひとりの排泄パターンに合わせて、出来るだけトイレで排泄できるよう支援している。		
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	簡単な体操や、歩ける方は歩行練習をしている。また腹部マッサージを行ったり、水分摂取に気をつけている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	熱い湯が好きな方、ぬるい湯を好まれる方等、それぞれに合わせて入浴を楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目( わかめユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	安眠が得られるよう、不眠や夜間頻尿に対しての支援をしている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬剤情報を個々のファイルに添付し、いつでも確認できるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	日常での手伝いや折り紙、色塗り等の手作業、また月に一度は季節に合った行事を開催し、少しでも楽しみのある生活が送れるよう努めている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	新型コロナウイルス感染防止の為、外出は出来ていない。状況をみて今後外出できるように支援したい。欲しい物がある場合は、家族に依頼するか、職員が代わりに購入するようにしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	数名の方が個人でお金を持っているが、現在新型コロナウイルス感染防止で外出出来ない為、使える機会がない。		

自己評価	外部評価	項目(わかめユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	手紙や電話でのやりとりの希望をされる方がいない。希望があれば、家族と相談した上で、やりとりが出来るよう支援をする。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	玄関や廊下には季節の花や置き物、写真など飾っている。また、清掃には気をつけ、気持ちよく過ごして頂けるよう努めている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	リビングの机の配置替えや、席替えを必要に応じ行い、入居者同士のトラブルを防いでいる。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	タンス等、以前から使用していた物を持参して頂き、居心地よく過ごせるようにしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	居室には表札を貼り、分かり易い様にしてしている。廊下やトイレ、風呂や洗面所と手すりをつけ、安全に移動が出来るようになっている。		

V アウトカム項目( わかめユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム家族

作成日 令和3年2月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	新型コロナウイルス感染防止のため、戸外に出かけられていない。	状況を見ながら落ち着いていれば、一人ずつでも気候の良い日に玄関や施設の周りへ散歩等、短時間でも戸外へ出る機会を設ける。	気候良く、個々の体調等に配慮しながら短時間（10～15分）でも外へ出れる機会を作る。感染防止に努めながら実施。	12ヵ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。